

平成16年度東北海区海況予報 第1号

平成16年4月20日

独立行政法人水産総合研究センター 東北区水産研究所

<<今後の見通し(2004年4~6月)>>

- (1)近海の黒潮の北限位置は、平年並~南偏(35°30'N~36°30'N)で推移する。
- (2)黒潮系暖水の北限位置は、近海で平年並~南偏で推移する。
- (3)釧路南東沖の暖水塊および金華山沖の暖水塊は持続する。
- (4)親潮第1分枝の張り出しは、平年並~やや南偏(38°30'N以北)で推移し、常磐近海には冷水域が断続的にする波及する。
- (5)津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、平年並(142°30'E付近)で推移する。

(海況の経過(2003年12月~2004年3月)の特徴)

- (1)近海の黒潮の北限位置は、平年並~かなり南偏で推移した。
- (2)釧路南東沖の暖水塊はゆっくりと北東方向に移動し、金華山沖の暖水塊は西に移動した後停滞した。
- (3)親潮第1分枝の南限は、2月に急激に南下し(38°20'N)南偏となったが、3月には常磐海域に冷水域が切離され、親潮第1分枝の南限は北偏した(40°10'N)。
- (4)津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、12月はやや強勢、2月はやや弱勢、3月は強勢と変動が激しかった。
- (5)表面水温は、鹿島灘~三陸沿岸では平年より低めで推移した。

(現況(2004年4月上旬~4月中旬)の特徴)

- (1)近海の黒潮の北限位置は、やや南偏傾向(35°50'N*)である。
- (2)暖水塊が、釧路南東沖約200km*および金華山沖約200km*にある。
- (3)常磐沖に暖水域が形成された。
- (4)暖水舌が鹿島灘沿岸に形成された。
- (5)親潮第1分枝の張り出しは、再び急激に南下し、ほぼ平年並になった(38°40'N)。
- (6)津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、平年並(142°E付近)である。

注：現況および今後の見通しは図を参照のこと。

「近海」は146°E以西、「沖合」は146°E以东を表す。

* 表面水温・人工衛星情報による